



優勝 3年6組

令和5年10月2日（月）発行

生活情報科通信 04

ミシン指導 ～重春小学校5年生～

>>>9月25日～27日



- ・3日間で3人担当をしましたが、3人全員「ミシンが楽しかった!」と言ってくれました。その時は教えて良かったと思ったし、私が小学生にミシンの楽しさを伝えられた喜びでいっぱいでした。大変だろうなとは思っていなかったのに終わった今ではもっと教えたいし、みんなが興味津々な姿をもっと見たいと思いました。 2年
- ・3日間、違う小学生を担当して、やっぱり人によってミシンの理解のはやさとか丁寧さも違って、その子にあったペースとか教え方に変えないといけないのが、難しかったです。今回ミシンを教えたことで、自分も初心に戻れたし、楽しかったので、親子ソーイング教室などにも積極的に参加したいと思いました。 2年
- ・このミシン教室が行われる前は、小学生や小さい子のことが苦手だと思っていたけれど、ミシン教室を通して小学生ともっと関わったり、親子ソーイング教室に参加したりして自分をもっと成長させたいと思いました。この3日間は小学生にとっても、自分にとっても、大切な時間だったなと改めて思いました。 2年



北播磨地域ビジョンフォーラム 2023

>>>8月23日

アクセサリーを多めに作ってましたが、男性が多く「名刺入れはないの?」ときかれ、対象者を考えて販売品を作成しなければならなかったなと思いました。



・空き家を活用して移住してこられる方の相談窓口として活躍されている、中川ミミさんの講演を聞きました。私たちの古民家アトリエの活動を活性化させるためには、『続けること、声をかけつづけること』が大切だとアドバイスいただきました。一時的にではなく続けていくことによってたくさんの方にこの活動を知ってもらえると思います。また、海外の方との交流を行うためには私たちの意見や考えではなく海外の方の意見や考えを知ることが大切だと分かりました。播州織を使っているか、知っているのか、どのように伝わるかを直接聞いて情報収集していかなければならないなと思いました。

インターンシップ

>>> 8月7日～9日

11 か所 21 名実施



東播染工：

(株)丸萬：

播州織工房館：

みらいえ図書室：

〃 こどもプラザ：

ひよこども園：

(給食)：

かすがこども園：

みどりこども園：

キッズランド加美：

あさかこども園：

比延こども園：



・私が一番勉強になったことは、何事も効率的に行うことの大切さと、広い視野を持つことです。学校とは違い、何時までにしないといけないということがきっちりと決まっていて、やり直したり止まってしまったら終わらないという厳しさを知らされました。勿論丁寧にこなすことは前提として、計画性や役割分担の大切さを実感しました。複数で何かを行う時、一人一人のできることを把握することや、自分のできることの限界を考えられる人になりたいと思いました。

・インターンシップで色々な年代の方と関わり感じたことは、素直に過ごすことの大切さです。関係を持っていく中で、笑顔で素直に受け答えすることが大切だと思いました。

進路について >>> 7月28日(金)

まず竹内由里子さんのお話をきいて感じたことは、他の人にはできない事をすることが大切なのだなと思いました。自分にしかできない事をするこ
とってとても勇気がある事だと思います。でも違う捉え方をしてみると、私に
しかできない事だからこそ特別感があり他の誰かがするのではないから達成
感が大いなるだろうなと思います。もちろん失敗する事も上手にいくこと
ばかりではないと思うけれどやって無駄になることはないという事をあら
ためて実感しました。清水智香子さんのお話では興味があることはやってみ
ることが大切だと分かりました。自分が学んでみたい、やってみたい、行っ
てみたいと思っている事を行動に移すことで新しくしたい事がみつける良い機
会になるんだなと感じました。また、スペイン巡礼をされたという話や海外に
よく行くという話を聞き自分もやってみたい、行ってみたいなと思いまし
た。笹倉さんのお話では努力する事の大切さを感じました。他の人よりも
遅くまで練習する事もそうですが、1 回だけでも家に帰ってからするなど、
小さな事でもこつこつする事が何よりも大切だなと思いました。失敗しても
何で失敗してしまったのかを考え改善する事も大切だと聞き、落ち込むの
ではなく、前向きにとらえて次に進まなければならないと感じました。瀬戸
さんのお話では、生活情報科でやってきた事がいろいろなところで役に立
つという事をきいて、今頑張っていたら本当に将来の役に立つ、自分のた
めになるのだと思いながら残りの生活を頑張っていこうと思いました。小出
千絵さんのお話では、自分が目標としている人をもつことが大切ということ
が、心に残りました。その人のようにするために目標があると頑張れるの
でとても良い考えだと思いました。また、自分の好きな事を生かせる仕事に
つくという事が良いときいて、共感しました。いやいややるよりも好きだか
らする方がつづけられると思います。さいごに松原彩菜さんのお話では、先
生に言われた事を素直に受け入れる子が成長するという言葉が、心に残っ
ています。たとえ怒られたとしても自分のために言うてくださっているのだと
受け止める事が大切だなとお話を聞きながら感じました。

竹内由里子：あんこ職人(あんこや・ペ)

松原(荻野) 彩菜：中学校教諭

足立(田中) 千絵：小学校教諭

清水智香子：ハンドクラフトショップ

笹倉華乃：美容師

瀬戸美月：市役所職員



・どの卒業生も、人と関わること、コミュニケーション力を身に付けておくこ
は、大切だと言われていました。

・卒業生の多くの方が、「無駄なことはない」「やってみることに意味がある」と
話してくださったのが、一番心にさざりました。私は失敗を恐れて挑戦しないこ
とばかりで、後悔することも多くありました。でも今回の話を聞いて、失敗から
学べることも多いし、失敗することも大事なのだと思って、いろいろなことに挑
戦していきたいと思いました。

・私が一番印象に残っているのは、「経験することは、お金では買えない」とい
うことです。実際にその場に行ったからこそ、感じるもの、得られるものがあり、
それらは全て自分につながっていると思います。どんなことに対しても、やって
みる姿勢を大切にしていきたいです。

・「先輩が見てあげようと思える後輩になること」という言葉を聞いて、本当に
その通りだと思いました。

・「自分からシャットアウトしてしまい、自分で自分の能力を閉ざしてしまっ
た。」という言葉が心に残りました。自分も同じようなことをしているのでは、と
気づきました。何事もやってみないと分からないし、自分の能力を消したくない
と思いました。

